

斐伊川水系流域治水プロジェクト【位置図】

●グリーンインフラの取り組み

○斐伊川水系は、全国的にもまれな連結汽水湖である宍道湖及び中海はラムサール条約の登録湿地であり、西日本有数の水鳥の飛来地となっているほか、斐伊川本川及び神戸川にも豊かで多様な動植物が息づき良好な景観が形成されている等、次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在しています。

○斐伊川水系においては、湖岸沿岸部における生物の生息・生育・繁殖環境の再生と自然浄化機能の回復を目的とした浅場造成、覆砂整備を、また大橋川改修事業に伴うコアマモ等の保全・再生を目的とした移植や環境に配慮した護岸の整備を行うなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進します。

●自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復

●治水対策における多自然川づくり

●生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

●自然環境が有する多様な機能の利活用

自然環境の保全・復元(浅場造成・覆砂)



水鳥の生息環境保全



大橋川の治水対策における景観保全・創造



大橋川の治水対策における
物の生息・生育環境の保全・再生



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

斐伊川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～斐伊川治水3点セットの総仕上げ～

○ 斐伊川水系では、昭和47年7月洪水を契機に流域全体で治水を行うとする考え方を基本とし、上流の尾原ダム・志津見ダム、中流の斐伊川放水路が完成し、斐伊川治水3点セットの総仕上げとして、下流の大橋川改修と湖岸堤整備等を推進しており、これにあわせて国、県、市町等が流域全体のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

松江市街地での浸水被害を防止・軽減するためとともに、大橋川改修を実施。あわせて、近年被害が頻発している中海の湖岸堤整備を実施。

また、下水道等の整備、水害リスクを考慮した立地適正化の検討を推進し、被害軽減策として、マイ・タイムラインの普及促進、ハザードマップの更新等を実施。

【中長期】

引き続き、大橋川改修、中海湖岸堤整備を推進するとともに、斐伊川の堤防強化、宍道湖の湖岸堤整備等を実施。

あわせて、農業水利施設の整備、治山・森林整備等を推進するとともに、ソフト対策として、防災学習等の推進、住民等への情報伝達手段の多重化等を実施。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

●グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	大橋川改修、中海・宍道湖湖岸堤整備、斐伊川堤防整備・堤防強化等	中国地方整備局	大橋川狭窄部の拡幅(下流) 中海湖岸堤整備(短中期箇所) 斐伊川本川堤防整備	大橋川狭窄部の拡幅(上流) 宍道湖・中海湖岸堤整備(中長期箇所) 斐伊川本川堤防強化
	河道拡幅、河床掘削、堤防整備、河道付替	鳥取県、島根県	河道拡幅・河床掘削・堤防整備等(短中期箇所) 河道拡幅・河床掘削・堤防整備・放水路整備、樹木伐採等(中長期箇所)	
	排水ポンプ・雨水ポンプの整備、雨水管渠整備、普通河川の拡幅・浚渫等	島根県、米子市、境港市、松江市、安来市、雲南市	雨水管渠整備(安来市) 排水ポンプ増設(島根県) 普通河川の拡幅・浚渫等(短期箇所)	ポンプ増設・耐震化(安来市) 雨水ポンプ場整備(境港市)、雨水管渠整備(松江市) 普通河川の浚渫等(中長期箇所)
	農業水利施設の整備、排水機場の更新・改修、水田の貯留機能の向上	中国四国農政局、島根県、奥出雲町	排水機場の改修等(農政局) 排水機場の更新(農政局)、農業水利施設整備(島根県) 水田の貯留機能向上(島根県・奥出雲町)	
	治山対策・森林整備	近畿中国森林管理局、森林研究・整備機構、島根県、島根県林業公社、松江市、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町、飯南町、林業事業体	流域内(国有林整備、水源林整備、保安林整備、造林事業)	
被害対象を減少させるための対策	水害リスクを考慮した居住誘導	松江市、雲南市、米子市 中国地方整備局	計画策定 水害リスクマップ作成	水害リスクを考慮した居住誘導
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域住民、企業等への防災意識啓発	中国地方整備局、鳥取県、島根県、各市町	防災学習、出前講座、研修、訓練等の実施 水害リスクの高い危険な箇所の点検と周知	
	住民への情報伝達手段の多重化等	鳥取県、島根県、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町、中国地方整備局	情報配信ツールを活用した防災情報の提供	
	避難確保体制の構築	鳥取県、島根県、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町	地域防災体制の構築支援 マイタイムラインの普及更新	

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

■事業規模

河川対策（約1710億円）

下水道対策（約43億円）

斐伊川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～グリーンインフラ～

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
グリーンインフラの取り組み	自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復	中国地方整備局、島根県、松江市、出雲市	浅場造成・覆砂整備(整備局)	
			水質保全のための宍道湖ヨシ刈り(整備局、島根県、松江市、出雲市)	
	多自然かわづくり、環境に配慮した河道改修等	中国地方整備局 鳥取県 島根県 出雲市 雲南市	生物に配慮した護岸整備、生息環境の保全・再生(整備局)	
			多様な生物の生息環境の保全(鳥取県)	
			多様な生物の生息環境の保全(島根県)	
			トキの野生復帰による多様な生物の生息環境の保全(出雲市)	
	自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復	中国地方整備局、鳥取県、島根県、米子市、境港市、松江市、出雲市、安来市、雲南市、奥出雲町、飯南町	コウノトリが営巣できる多様な生物の生息環境の保全(雲南市)	
			大型水鳥の舞う魅力的な流域づくり(生息環境の保全・再生と地域活性化)	
	魅力ある水辺空間・賑わい創出	中国地方整備局、鳥取県、米子市、松江市、雲南市	中海・錦海かわまちづくり(整備局、鳥取県、米子市)	
			宍道湖・大橋川かわまちづくり(整備局、松江市)	
			木次地区斐伊川かわまちづくり(整備局、雲南市)	
	自然環境が有する多様な機能活用の利活用	中国地方整備局 鳥取県、島根県 松江市 奥出雲町	小中学校などによる河川環境学習(整備局、島根県)	
			ミズベリング松江協議会(整備局、松江市)	
			水田の貯留機能の向上(島根県、奥出雲町)	
			浅水代掻の取組(鳥取県)	

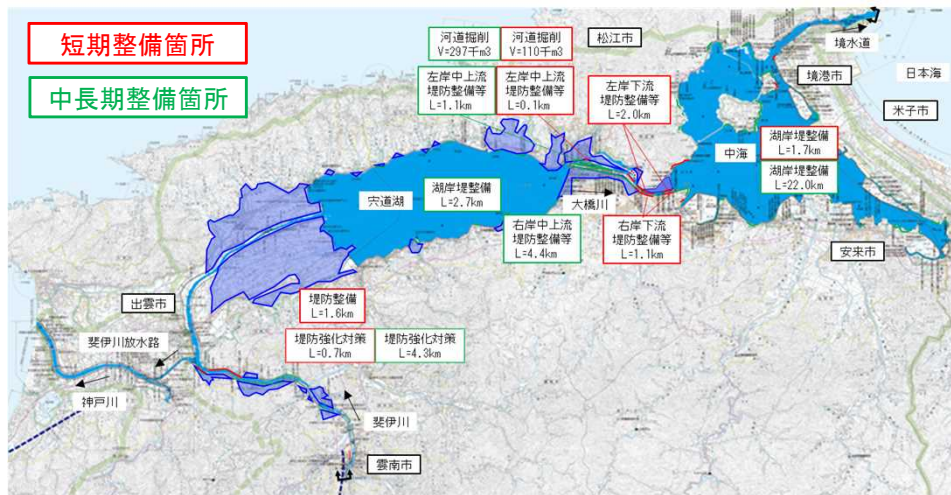
斐伊川水系における流域治水プロジェクト【事業効果（国管理区間）の見える化】

～斐伊川治水3点セットの事業効果の総仕上げ～

○現時点において、松江市市街地、斐伊川本川中流部（出雲市）では高頻度、中高頻度の降雨によって浸水の可能性がある。

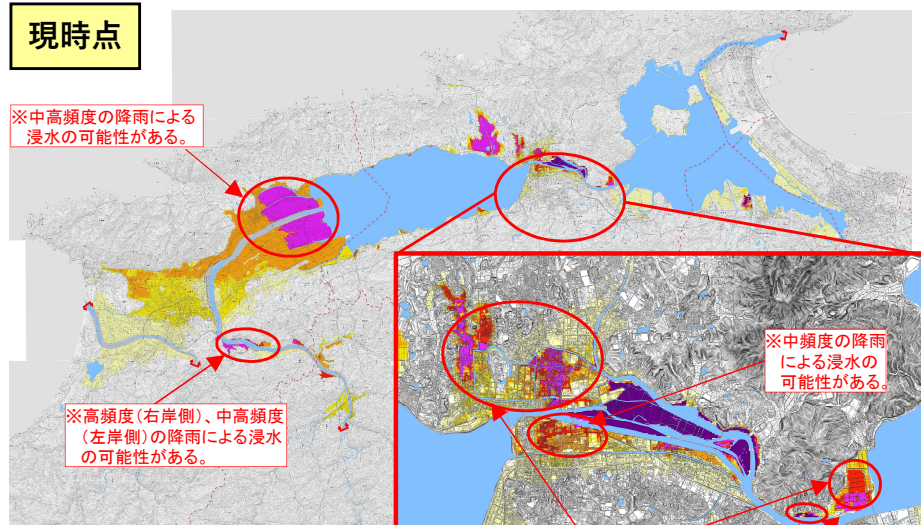
○大橋川では主に下流部において狭窄部の拡幅及び堤防整備等を進捗させることにより、水位低減効果を発現させ、短期整備後、高頻度の降雨による浸水被害を解消し、中頻度の降雨による松江市街地の一部地域における浸水被害の軽減を図る。また、斐伊川本川では、中流部での堤防整備の完了により、短期整備後、高頻度の降雨による浸水被害を解消し、中高頻度の降雨による一連区間の浸水被害軽減を図る。

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約93%→約94%

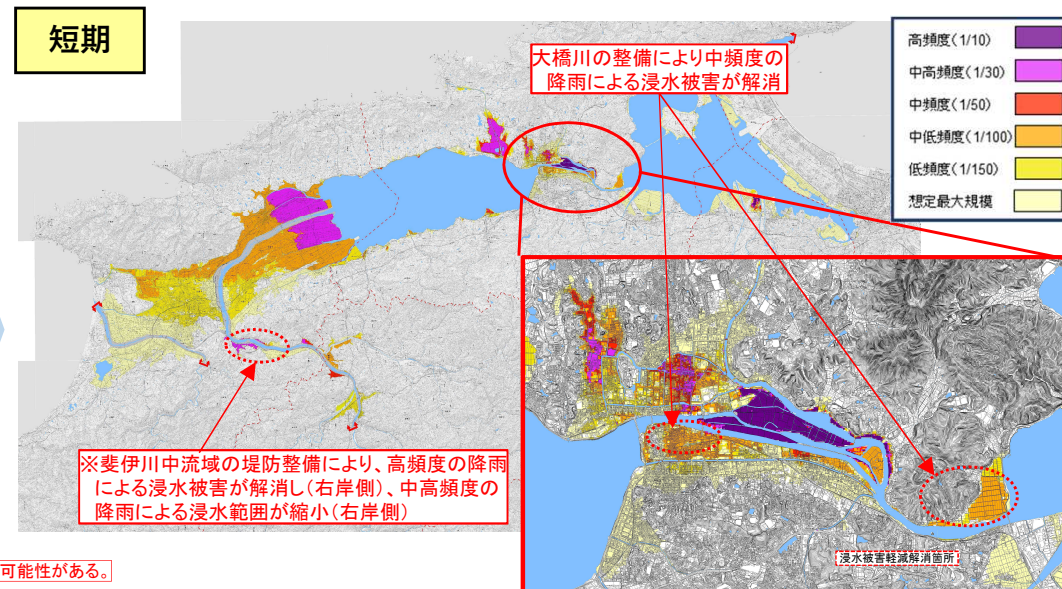


箇所	対策	短期(R3～R7年)	中長期(R8～R11年)	治水安全度 (現況→短期)
斐伊川	堤防整備	100%		1/10以下 →1/10
	堤防強化対策	53%	100%	
大橋川	河道掘削	下流部 100%		1/10以下 →1/10以下
			中上流部 100%	
	堤防整備	下流部 100%		
		中上流部 47%	100%	
宍道湖	湖岸堤整備		100%	1/10以下 →1/10以下
中海	湖岸堤整備	27%	100%	1/10以下 →1/10以下

現時点



短期



※国管理区間からの外水氾濫のみを考慮し、越波、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

斐伊川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～斐伊川治水3点セットの総仕上げ～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：94%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



6市町

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設

（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 **36箇所**

（令和3年度実施分）

砂防関係施設の
整備数 **2施設**

（令和3年度完成分）

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町

（令和3年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の提供整備



洪水浸水想定
区域 **10河川**

（令和3年12月末時点）

内水浸水想定
区域 **0団体**

（令和3年11月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



洪水 **682施設**

避難確保
計画 土砂 **197施設**

（令和3年9月末時点）

個別避難計画 **集計中**

（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■河道拡幅・河道掘削（中川（島根県））

河川の拡幅・掘削、堤防の築造、橋梁等の改築により
流下能力を向上させ、昭和47年7月洪水と同規模の洪水
に対して、沿川の浸水被害解消を図る。



■雨水ポンプ場整備（渡地区（境港市））

近年の計画規模を上回る集中豪雨の多発をふまえ、
地域の安全・安心で快適な生活環境の実現を目指し内
水を排除するための雨水ポンプ場の整備や雨水函渠整
備を関連事業と調整し実施。

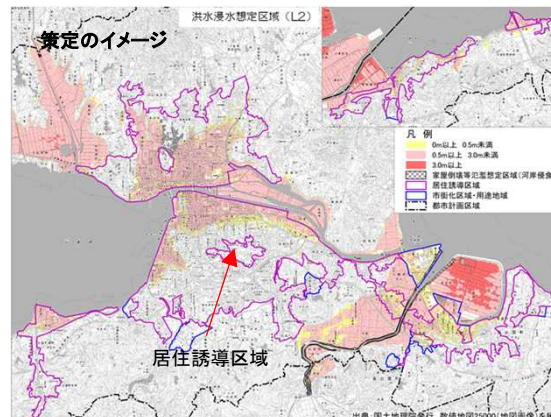


被害対象を減少させるための対策

■水害リスクを踏まえた立地適正化計画の策定 （松江市の事例）

居住誘導区域においては、水災害（洪水浸水想定
区域、家屋倒壊等氾濫想定区域【河岸浸食】）と土砂
災害（土砂災害特別警戒区域等）によるリスクの分析
を行い、ハザードエリアと高齢化率や都市情報等を重
ね合わせ、課題を抽出。

その後、災害リスクの課題を踏まえ、防災まちづくり
の将来像及び取組方針を設定し、その実現に向けた
具体の対策やスケジュール等を定める。



被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

■地域住民等への防災意識啓発

地域の防災マップづくりの、意
義やノウハウを学ぶためのイン
ストラクターの養成研修や要配
慮者利用施設への出前講座を
通じて、避難確保計画の作成
や訓練への助言を行っている。

また、防災学習、出前講座等
により、地域住民や企業等へ水
害に対する意識啓発を行い、防
災意識を高める取り組みを行っ
ている。



支援マップの作成（鳥取県）



出前講座（安来市他）

■SNSによる外国人に向けた防災情報の発信 （出雲市）

外国人向けの出雲市公式フ
ェイスブック「Curta Izumo」により、
広報誌掲載の告知事項などをポ
ルトガル語、英語、やさしい日本
語で発信しており、防災情報の
発信に加え、様々な行政情報を
積極的に発信している。令和3
年7月大雨災害の際に防災情報
を発信している。

